



SESERAGI—MISHIMA ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

クラブ
週報

2019～2020年度 RI会長 マーク・ダニエル・マローニー
RIテーマ ロータリーは世界をつなぐ

クラブテーマ「私たちは風土を大切に守り発展を続けていきます」

会長 山田定男

副会長 加藤正幸 幹事 石井和郎

第1443回例会 2020.2.14(金)晴

司会:大庭靖貴君 指揮:藤川智徳君
ローターソンク「我等の生業」

事務所 三島市中央町4-9 小野住環中央町ビル2F
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ

検索

例会場

呉竹

TEL.055-975-3210

毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

会長 山田定男君

2月6日から2月11日まで、カンボジアへ支援事業に行ってきました。一昨日全員無事に三島へ帰ってきました。今回の奉仕内容はプノンペンの小・中学校、及び高等学校の見学と支援、又、シェリムアップ・リエンボン村の子供とその父兄の経済支援(ミシンと古布の贈呈)です。リエンボン村は貧しい村です。プノンペンの各学校は比較的豊かですが、リエンボンはその限りではありませんでした。後ほど大庭団長より報告していただきますが、今後もカンボジアへの支援は必要であると感じました。

第8回理事役員会報告

開催日:令和2年2月14日(金)13時40分～14時

出席者:山田会長、石井幹事、小島、大庭、藤川、服部
会長挨拶:国際奉仕事業、大変お疲れ様でした。大庭委員長につきましては飛行機のキャンセル等のアクシデントがあったにも関わらず無事に予定通りの事業が遂行できたことに対して感謝申し上げます。さて次年度へ向けてPETS(会長エレクト研修セミナー)開催の通知が届きました。次年度会長幹事につきましては万象繰り合わせの上よろしく願いいたします。

議事:次年度ガバナー事務局より次年度役員登録要請が来ましたので12月第一例会にて加藤会長エレクトより発表がありました人事を次年度事務局へ提出致します。

出席報告

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	19/34	55.88%	27/34	79.41%
今回	20/35	57.14%	会員総数	35名

欠席者

あなたが見えなくて残念でした。

石井(邦)君、石井(司)君、伊丹君、遠藤君、大村君、加藤君、篠木君、杉山(順)君、鈴木(真)君、田中君、中本君、原君、矢岸君、山口(雅)君、渡邊君

(*出席免除会員の欠席者)

おめでとう

会員誕生日 2月19日 中村 徹君
入会記念日 2月14日 服部光弥君



幹事報告

幹事 石井和郎君

- ①IM出席者、国際奉仕の方々、ご苦労様でした。
- ②国際ロータリー・ホノルル大会参加希望者は幹事まで申し出てください。
- ③本日例会終了後理事・役員会を行います。

国際奉仕委員会 委員長 大庭靖貴君

先週2月6日より国際奉仕委員会カンボジア児童教育環境向上事業で、現地へ行って参りましたのでそのご報告をしたいと思います。

今年度は昨年度のリエンボン村に引き続き、新たにプノンペン郊外の小学校と、その近くにある中等高等学校の計3校を訪問しました。

まず最初に訪れた小学校はプノンペン中心部から約90km南東に位置し、ベトナム国境まで数キロの場所でした。行く前はリエンボン村の小学校のように、小さな学校で恵まれていない環境の小学校をイメージしていたのですが、実際は全く異なり恵まれた環境にある小学校のように感じました。児童も6、700名ほどいるそうでプレゼントしたノート150冊、鉛筆250本、消しゴム100個、鉛筆削り10台、サッカーボール5個では全く足りませんでした。ですが、式典では学校から感謝状をいただき学校を後にしました。

次の学校へは少し時間がありましたのでベトナム国境を見学し、その後中等高等学校へ向かい、到着後は創設者であり理事長のコンボンさん他学校関係者と昼食をいただき、学校を見学しました。こちらの中高等学校は非常に恵まれた学校で、設備なども整っており、サッカー日本代表の本田圭佑生徒選手がプレゼントしたサッカー場もありました。こちらの学校は日本式の教育を取り入れていることもあってか、教室を覗いてみると気づいた生徒は起立と挨拶をし、それに気づいた生徒も全員起立し挨拶をする礼儀正しさには驚きました。

そして14時になり式典を行いサッカーボール15個をプレゼントしました。生徒数が1700名もいるという事で代表者30名ほどと学校関係者のみで行い、感謝状をいただきました。式典が終わりホテルへ戻り、夜は田井領事、文化芸術省副大臣、教育省関係者、コンボンさん、JHP学校を作る会の関係者を招き夕食会を行いました。

次の日はプノンペンからシェムリアップへ国内線で移動し、リエンボン村へ向かいました。シェムリアップから国道6号線を50kmほど進みそこから村道を10kmほど行ったところにある村ですが、前は30分かかった村道も今回は凹凸が修復されており10分で村に到着しました。しかし雨季になるとまた元の凹凸道になるという事でした。

村に着くとまず驚いたのが、前回贈呈式を行った場所に古い教室が移動しており、古い教室があった場所に新しい教室が建っていたことでした。トイレも新設されていました。工房も壁が出来て窓が設置され床もタイルが貼られており、学校全体の見た目は良くなっておりましたが、子供たちを見ると前日に会った子供達とは違い、汚れた制服に裸足の子供も何人かいて貧しさを感じました。しかしそんな事を忘れさせるくらい素晴らしい笑顔の子供達に癒されました。今年もリエンボン村にはミシン10台、生地類を重さにして約130kgをプレゼントし、贈呈式を行い感謝状をいただきました。

今回は3校訪問したことによりそれぞれ比較が出来たこと、リエンボン村は1年前と比較が出来たことで、全体を通して前回とは違った視点で色々見ることが出来たととても良かったと思いました。



山岡修一君：せせらぎさんの交際奉仕事業にご一緒させていただきました。”すばらしい”のひとつことです。

仲原実圭君：国際奉仕、カンボジアへご参加の皆様、お疲れ様でした。短期間で2都市3ヶ所の式典はさすがにハードでした。式典で出会った子供たちを見て改めて考えさせられることの多い旅でした。来年以降の糧にしたいと思います。

藤川智徳君：国際奉仕のカンボジア、大庭さん、仲原さん、皆さん有難うございました。とても有意義な時間でしたが、自分自身として反省することも多々ありスマイルとはいえないですがスマイルします。

大庭靖貴君：カンボジア行ってまいりました。ご同行下さった方、いろいろありがとうございました。本日の卓話で報告いたします。よろしくお願ひします。

山田定男君：カンボジア行ってまいりました。皆様にお世話になって会長の役目を無事済ませることができました。

服部光弥君：大庭委員長、仲原さん、国際奉仕事業大変お世話になりました。キラキラした子供たちの笑顔に心もからだもリフレッシュできました。藤川さん、思い出をありがとう。

中村 徹君：2月19日で恥ずかしながら77歳になります。今年は医師になって50年目、函南町に産婦人科を開業してこの7月で35年目になります。365日24時間、休みない医師人生でしたが、丈夫な体に産んでくれた母親に感謝です。結婚記念日はこの2月11日でしたが、45年間私を支えてくれた家内や家族に感謝するばかりです。

ロータリー歴は32年目です。この間限りない人生勉強をさせていただきました。ありがとうございました。

これからも初心に戻り、心身共に元気の間は、仲間づきあいの程、よろしくお願ひいたします。

土屋 巧君：休みがちですみません。本日は若干早退いたします。これから確定申告の時期です。皆さんも早めに済ませましょう。

岡 良森君：一昨日、昨日と市役所の会合がありましたが、帰国後2週間たっていないので自粛してほしいと言われ逆にゆっくりできました。

山口辰哉君：カンボジアに行かれた皆様、おつかれさまでした。

石井和郎君：国際奉仕の皆様、ご苦労様でした。

今日の料理

